

# 食育 地産地消 県民大会

由  
参加者の方に  
もれなくプレゼント  
JAにじ「トマトスープ」「ほうれん草スープ」を  
お持ち帰りいただけます！



2016年2月19日(金) 13:30～16:30

会場 エルガーラ7F 中ホール 福岡市中央区天神1-4-2

主催：食育・地産地消ふくおか県民会議、JA福岡中央会 後援：JAグループ福岡  
運営：“食と農を考える”大学生ネットワーク

## スケジュール

13:00～ 開場

13:30～13:45 オープニング

13:45～13:55 ふくおかの農業応援団体表彰式

13:55～14:20 ふくおかの農業応援団体  
優良事例発表

14:20～15:10 基調講演

「なにを食べたらいいの?  
～食卓から子どもの未来を考える～」

ジャーナリスト 安部 司 氏

15:10～15:20 休憩

15:20～16:20 大学生ネットワーク  
パネルディスカッション

「若い力が  
食や農業を変える!!」

コーディネーター  
福岡女子大学 准教授 新開 章司 氏

16:20～16:30 閉会





## 基調講演講師

### ジャーナリスト 安部 司 氏

福岡県福岡市出身。食品・添加物に関する仕事に従事。退職後、執筆活動や講演活動など食の安全を説いていく活動に従事。著書「食品の裏側」は70万部を超えるセールスを記録している。

### パネルディスカッション パネリスト



福岡女子大学  
国際文理学部 4年

#### 有森 らな さん

農家の方に直接お話を伺うことで分かることが多くありました。



中村学園大学  
短期大学部 1年

#### 野田 佐緒里 さん

収穫した野菜を調理し、美味しく頂きました。



日本赤十字九州国際看護大学  
看護学部 4年

#### 鵜池 弘士 さん

アグリスクールを通して、食と農の繋がり、大切さを再認識しました。



福岡大学  
商学部 3年

#### 辻 大毅 さん

私たちが口にする食は人の苦労がつまつたものだと感じました。

### パネルディスカッション コーディネーター



九州大学  
農学部 4年

#### 山田 奈実 さん

食を伝えることの難しさを知りました。



福岡女子大学  
国際文理学部 准教授

### 新開 章司 氏

## 大学生ネットワークとは

将来、社会人となる大学生を中心に、食べものや農業に関心を持ってもらうために福岡県の農業を体験し、農産物を知ってもらう活動を定期的に行っています。活動を通して、食べものと農業のつながりを理解してもらいます。

大学生ネットワーク委員長 有森らな



食育・地産地消 県民大会

(第3種郵便物認可)

体験を通じて学んだことを  
今後どのように生かしていく  
くか抱負を語る大学生



## J A 福岡 中央会など 大会 学生ネットが活動報告

大学生ネットワークは福岡中央会が事務局で、将来、社会人となる大学生を中心に関心を持つものや農業に関心を持ったもの、活動を通じて食べものと農業のつながりを理解し、福岡県の農業・農産物への愛着心を育むことを目的に2010年に設立。今年度は福岡県内にある6大学の学生27人で構成し、農業体験、商品開発、生産者の取材、シンポジウムなど一年を通じて活動した。(福岡)

基調講演では、ジャーナリストの安部司氏が「なにを食べたらしいの?~食卓から子どもの未来を考える」を演題に、食品・添加物に関する仕事の経験を基に安全な食の在り方を話し、見た目と利便性、作業効率ばかり追求する

食育・地産地消ふくおか県民会議とJA福岡中央会は19日、食と食を支える農林水産業の大切さを県民みんなで考えることを目的に福岡市で食育・地産地消県民大会を開いた。約180人が参加した会場では、ふくおか農業応援団体表彰式や受賞団体の優良事例発表、基調講演、大学生パネルディスカッションなどが行われた。

基調講演では、ジャーナリストの安部司氏が「なにを食べたらいいの?~食卓から子どもの未来を考える」を演題に、食品・添加物に関する仕事の経験を基に安全な食の在り方を話し、見た目と利便性、作業効率ばかり追求する

日本の食の現状に警鐘を鳴らした。パネリストの日本赤十字九州国際看護大学看護学部4年生の鶴池弘士さんは、大学生ネットワークに参加して3年目。「農業を見ていたことと比べると食や農に対する意識が大きく変わり、自分の食の見直しをした」と話し、「将来は看護師として病院で働く。入院している患者さんの食事環境を整えることができる看護師になりたい」と抱負を語った。

大学生ネットワークは福岡中央会が事務局で、将来、社会人となる大学生を中心に関心を持つものや農業に関心を持つもの、活動を通じて食べものと農業のつながりを理解し、福岡県の農業・農産物への愛着心を育むことを目的に2010年に設立。今年度は福岡県内にある6大学の学生27人で構成し、農業体験、商品開発、生産者の取材、シンポジウムなど一年を通じて活動した。(福岡)

# 農と食 支えよう 県全体で